

- 上手雄貴・藤本博文・吉富博之, 2003. 四国で採集したセスジダルマガムシ属, 甲虫ニュース, (142): 18.
- 松田真紀子, 2018. 下関市のセスジダルマガムシ属の一種の生態. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, 10: 145-153.
- 松田真紀子・川野敬介, 2014. 下関市三軒屋海岸の生物3種. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, 6: 131-132.
- 森 正人, 2017. 兵庫県の水生ガムシ類. きべりはむし, 39 (2): 42-52.
- 中島 淳・緒方 健, 2004. 福岡県・佐賀県におけるセスジダルマガムシ属4種の採集記録. 甲虫ニュース, (147): 13-14.
- 山地 治, 2012. 岡山県産甲虫目録2012., 401 pp. 公益財団法人岡山県環境保全事業団.
- 吉富博之・松井英司・佐藤光一・疋田直之, 2000. 日本産セスジダルマガムシ属概説. 甲虫ニュース, (130): 5-11.



図1. コプリメツノゴミムシダマシ.

(辻 雄介 742-0344 岩国市玖珂町 6450-48)

(相本篤志 747-0806

防府市石が口 3-10-10-2-B202)

本種はこれまでおもに近畿地方以西から記録され, 春日山が東限のようである. 今回の記録は, 本種の東限記録かと思われる.

【短報】ゴミムシダマシ科2種の岐阜県からの記録

フトヒメツノゴミムシダマシ *Toxicum morii* (Masumoto et Akita, 2008) とコプリメツノゴミムシダマシ *Cryphaeus boleti* (Lewis, 1894) は, これまで岐阜県からは記録がない. この2種の岐阜県初記録を報告する.

報告にあたってフトヒメツノゴミムシダマシを採集し, 発表を快諾していただいた宮野昭彦氏(岐阜県各務原市)に厚くお礼申し上げる.

引用文献

- 秋田勝己・乙部 宏, 2015. 鈴鹿市でフトヒメツノゴミムシダマシを採集. ひらくら, 59 (1): 21.
- 秋田勝己・益本仁雄, 2006. 日本産ヒメツノゴミムシダマシ属(ゴミムシダマシ科)について. 甲虫ニュース, (155): 1-7.
- 秋田勝己・益本仁雄, 2016. 日本産ゴミムシダマシ大図鑑. 304 pp. むし社, 東京.

(豊島健太郎 500-8227 岐阜市北一色 3-12-14)

1. フトヒメツノゴミムシダマシ *Toxicum morii* (Masumoto et Akita, 2008)

1♂, 岐阜県海津市南濃町羽根谷, 4. VIII. 2016, 宮野昭彦採集(灯火), 筆者保管.

本種は兵庫県を基産地として2008年に記載され, その後福井県, 京都府, 岡山県, 三重県などで採集されている. 秋田・益本(2016)によると急速な分布の拡大傾向が伺え, 移入種の可能性が疑われるとされる.

2. コプリメツノゴミムシダマシ *Cryphaeus boleti* (Lewis, 1894) (図1)

1♂, 岐阜市達目洞, 6. VII. 2017, 筆者採集・保管(図). 1♂, 同, 13. VII. 2017, 筆者採集・保管.

本種は秋田・益本(2016)によると春日山のような低山地での採集例もあるが, 標高1,000m~1,500mのブナ帯での採集例が多いとされる. 岐阜市達目洞は金華山東麓の照葉樹林のよく保存された標高35mほどの低地である. 部分枯れのコナラ大径木の枯死部から採集した.

【短報】オニダナエテントウダマシ岐阜県からの記録

オニダナエテントウダマシ *Danae shibatai* Nakane, 1958 (図1) は, 基産地の奈良県(佐々治, 1980)のほか群馬県(沢田, 1983), 青森県(尾崎, 2000), 東京都(亀澤, 2011)から知られるが, 他にはほとんど記録を聞かない種である.

筆者は岐阜県産の本種の標本を蟹江昇氏(愛知県瀬戸市)よりいただいたので, 岐阜県初記録種として報告する.

1 ex., 岐阜県大野郡白川村大白川, 7. VIII. 2012, 蟹江昇採集, 筆者保管.

報告にあたり貴重な標本を恵与され, 発表を快諾された蟹江昇氏, 文献でお世話になった亀澤洋氏(川越市), 高井泰氏(関市)に厚くお礼申し上げる.